

**MDC-50Tb マルチデバイスコントローラ
取り扱い説明書**

(ソフトバージョン S0130)

武蔵株式会社
平成 22 年 2 月

改定履歴

No	発行日	バージョン	内容
1	平成 15 年 3 月	Ver1.1	初版
2	平成 15 年 12 月	S0100	VTR 等を単体で操作したときに SHTL/JOG/VAR の MDC 側の状態を解除するモードを追加
3	平成 16 年 6 月	S0100	取り扱い説明書メニュー一覧修正
4	平成 16 年 12 月	S0120	MAV 対応(スパスロー)／編集機能追加／CUE 点登録数追加／EJECT 機能追加／キャラジェネ対応等
5	平成 17 年 4 月	S0120	メニュー登録機能追加／LTC Preset 機能追加／PbEeMod 追加
6	平成 18 年 9 月	S0130	GPI 入力による REC,CUE,SEARCH,STBY-ON の対応／PAL 対応
7	平成 19 年 1 月	S0130	簡易編集機能の誤記訂正
8	平成 19 年 3 月	S0130-14	MDC-50Tb 型名変更 JOG 変更
9	平成 20 年 1 月	S0130-40	ファイル削除機能追加
10	平成 22 年 2 月	S0130-40	誤表記、誤字修正

機器構成

MDC-50Tb	本体
MDC-VS5T	VTR ソフト(RS422 1 ポート標準)
MDC-DS5T	DISK ソフト(RS422 2 ポート標準)
MDC-SP5T	RS422 ポート追加ソフト(オプション)

※MDC-VS5T もしくは、MDC-DS5T どちらか選択になります。

VTR ソフトは VTR のみの制御になります。

DISK ソフトは VTR 及び Disk Recorder の制御が可能になります。

目次

1.概要.....	4
2.特徴.....	4
3.パネル各部の機能.....	5
4. 背面パネル各部の名称.....	13
5. 機能と操作方法.....	14
5.1 CUE 操作方法.....	14
5.1.1 CUE モードの操作方法.....	14
5.1.2 CUE の登録.....	14
5.1.3 CUE の呼び出し.....	15
5.1.4 CUE の修正方法.....	16
5.1.5 CUE の消去方法.....	16
5.2 複数台の同時記録再生.....	17
5.3 簡易編集機能.....	18
5.4 キーアサインの変更.....	19
6. Disk Soft 使用時の機能と操作方法.....	20
6.1 CoupLing 機能.....	20
6.1.1 CoupLing 機能の設定.....	20
6.1.2 その他の設定.....	22
6.2 Disk Recorder 使用時のファイル管理に関して.....	23
7. スーパーインポーズ(オプション).....	24
8. GPI機能と操作方法.....	25
8.1 機能説明.....	25
8.2 ピンアサイン詳細.....	25
8.3 設定方法詳細.....	26
9. メニュー設定及び操作方法.....	28
9.1 メニューの操作方法.....	28
9.2 メニューの保存と読み出し方法.....	29
9.2.1 メニューの保存.....	29
9.2.2 メニューの読出し.....	29
9.3 メニュー一覧とエラー表示.....	30
10.仕様.....	44
11.外形寸法.....	45

MDC-50Tb マルチデバイスコントローラ

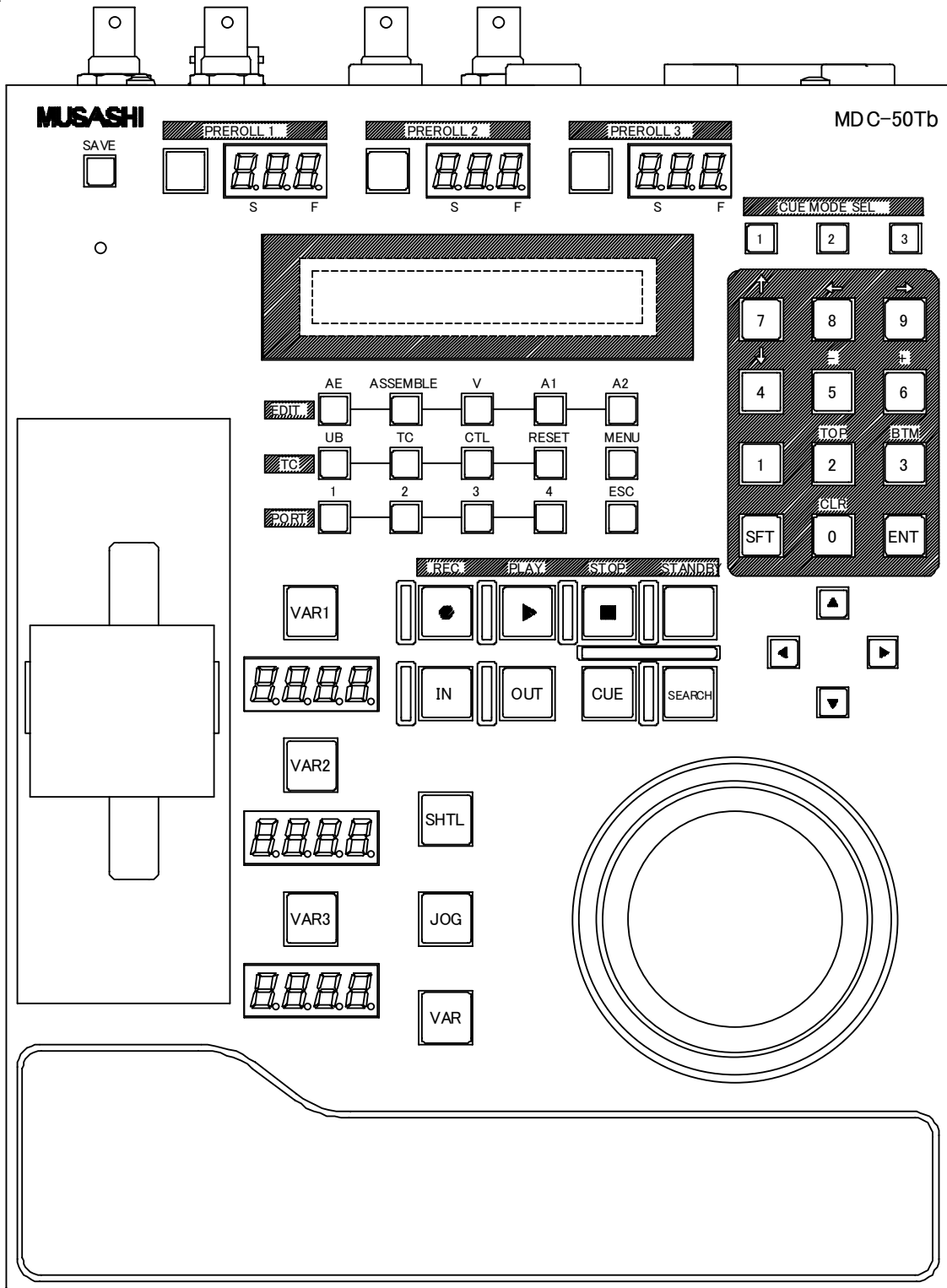
1.概要

MDC-50Tb は、VTR 及びディスクレコーダーのリモートコントロールを行なう装置です。
PLAY/ STOP/REC/STANDBY/JOG/SHUTTLE 等の制御を RS-422 により行ないます。
制御ポートは VTR ソフト標準で 1 ポート、ディスクソフト標準で 2 ポート、増設により最大 4 ポート
まで拡張でき、切替えにより 4 台の VTR を制御できます。
JOG/SHUTTLE ダイアルを備え編集点の確認等が容易に行なえます。
タイムコードを利用した CUE 登録が可能で迅速な番組の頭出しが可能です。
また、T-BAR を使ってスローコントロールが可能です。

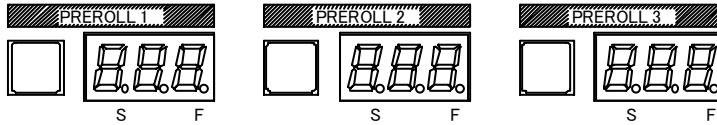
2.特徴

- 簡単な CUE の登録と CUE UP 操作が可能です。
- 増設により最大 4 ポートまで拡張可能です。
- 1 ポートあたり CUE MODE 1 700 個、CUE MODE 2 90 個、CUE MODE 3 700 個の CUE 登録が可能です。
※ディスクソフト撮って出し使用時は、2 ポートで上記登録数になります。
- テンキーによるダイレクトに打ち込み GOTO が可能です。
- 最大 4 ポートまで同時 REC/ PLAY/ CUE UP が可能です。(※調相はしていません。)
- 液晶表示によるメニューで各設定が可能です。
- JOG/SHUTTLE ダイアルを備え CUE 点の確認等が容易です。
- T-BAR によりスローコントロールが簡単に操作可能です。
- 3 個の PREROLL タイムを登録可能です。
- 3 個の Var スピードを設定可能です。
- GPI を備え外部から PLAY/STOP/REC させることが可能です。
- オプションの CG ボードを装着することによりモニターにタイムコードと CUE 点をスーパーさせることが出来ます。

3. パネル各部の機能



① PREROLL タイム表示部



3桁の7セグ緑色LEDを配置し、設定したPREROLLタイムを表示します。

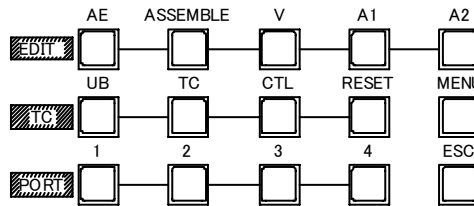
プリロール時間はメニューで設定することが可能です。スイッチを押下することにより CUE UPしたときのプリロール時間が変わります。

メニュー設定した数値はボタン右横の表示器に表示されます。

スイッチ選択をしていない時(消灯)は、PREROLL0秒で CUE UPします。

※プリロール時間はメニュー”CONSOLE > Preroll-1~Preroll-3”で設定可能です。

② 制御ポート切替えスイッチ/タイムコード切替えスイッチ/LED表示切替えスイッチ



②-1 PORT

オプションのRS-422ポートを増設した場合、4つあるRS-422ポートの1から4を切替えて制御することができます。

②-2 TC

液晶部の表示内容を変更します。UB表示、TC表示、CTL表示の各スイッチとCTL表示時のRESETスイッチの4つスイッチがあります。RESET押下時はメニュー”CONSOLE > CtlPresetTc”で設定した値00:00:00:00~23:59:59:29 (Def=00:00:00:00)がCTLにプリセットされます。TC + RESET押下時はメニュー”CONSOLE > LtcgPreset”で設定した値00:00:00:00~23:59:59:29 (Def=00:00:00:00)がLTC Genにプリセットされます。

②-3 EDIT

2台のVTRを使って編集を行なうときに使用します。

AEスイッチ・・・編集モードに入ります。

ASSEMBLEスイッチ・・・アッセンブルモード編集を行ないます。

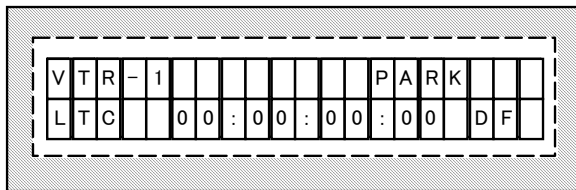
V/A1/A2スイッチ・・・インサートモード編集を行ないます。

②-4 MENU/ESC

MENU スイッチ・・・メニューモードに入るスイッチです。再度押下するとメニューモードが解除されます。※CUE モード等に入っている場合はメニューには入れません。

ESC スイッチ・・・メニュー操作時及びモードを解除し、1 つ前の状態に移行します。

③ 液晶表示部



20 桁 2 行のバックライト付き液晶表示器を使用し、メニュー、ステータス、入力データ、タイムコード等の表示を行ないます。

④ 各種スイッチ部

REC/PLAY/STOP/STANDBY/IN/OUT/CUE/SEARCH スイッチはメニュー設定によりキーアサインを任意に変更する事が可能です。

④-1 IN スイッチ/OUT スイッチ



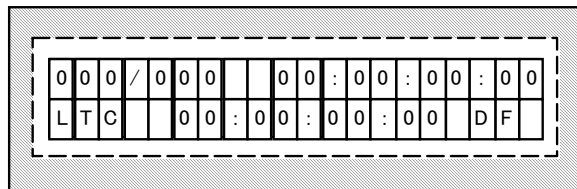
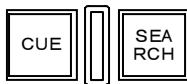
AUTO EDIT、CUE MODE 3 の TC データを登録します。

④-2 ESC スイッチ



メニュー操作時に現在入力中のモードを解除し、1 つ前の状態に移行します。

④-3 CUE スイッチと SEARCH スイッチ



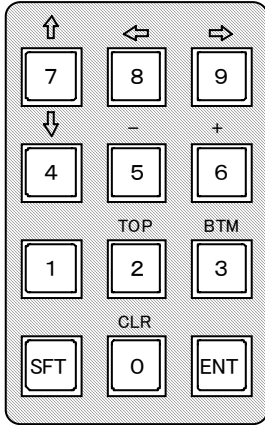
CUE スイッチ・・・CUE MODE1,2 の TC データを登録します。

SEARCH スイッチ・・・CUE MODE 時、読み出された TC データに頭出しします。

※ CUE 点の登録操作などの詳細は P.14～16「5.1 CUE 操作方法」をご参照下さい。

※ 登録した CUE 点を保存して残しておきたいときは、SAVE スイッチにて CUE 点を保存して下さい。詳しくは P.11 「④-10 SAVE スイッチ」をご参照下さい。

④-4 テンキー部



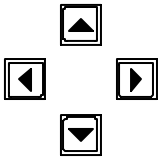
数値データの入力、CUE 点の呼び出し、メニュー時の操作、等の機能を有します。通常は、ボタンに表示されているものが有効になります。SHIFT ボタンを押すとボタン上部に表示されているものが有効になります。(SHIFT ボタンを押すとボタンが点灯し SHIFT 状態が保持されます。もう一度 SHIFT ボタンを押すと解除されます。)

<テンキーによる Goto 機能について>

TC をテンキーにて入力し SEARCH スイッチを押す事で、入力した TC に頭出しする事が可能です。

※ 通常モード(CUE MODE 1/2/3 でない)時のみ

④-5 十字キー部



登録した CUE の呼び出しに使用します。



IN 点に CUE UP します。(メニュー設定による)



OUT 点に CUE UP します。(メニュー設定による)



登録した CUE 点を移動します。(前の CUE 点に戻ります。)



登録した CUE 点を移動します。(次の CUE 点に進みます。)

上下キーのどちらかを押下したまま反対の上下キーを押下すると 10 個単位で押下したままの方向に CUE 点が移動します。

CUE MODE SEL2 のページ捲りにも上下キーのどちらかを押下したまま反対の上下キーを押下するとページが押下したままの方向に移動します。

※ CUE MODE に入ると十字キーの左右キーが点灯します。

④-6 REC、STOP、PLAY、STANDBY 各スイッチ部

※メニュー設定によりスイッチの配置を変更可能です。



REC



REC スイッチ…REC スイッチ+PLAY スイッチで REC 制御を開始します。
REC スイッチを押下すると EE になります。

PLAY



PLAY スイッチ…PLAY 制御を開始します。
メニューの設定により、PLAY コマンド送信時に PB 状態に切り替える／何もしな
いが選択出来ます。(メニュー”RS422 PORT > PbEeMod”)

STOP



STOP スイッチ…STOP 制御を開始します。
PORT 1 スイッチ～PORT 4 スイッチ+STOP スイッチで、選択したポートに接続
された VTR のテープを EJECT します。

<Ref 検知機能について>

本機のメニュー設定”CONSOLE > StopSwDisp”を[RefSts]に設定すると、本機
での設定と入力している Ref 信号が違う時、本スイッチが点滅します。
(Ref 信号が無い時は、点滅しません。)

STANDBY



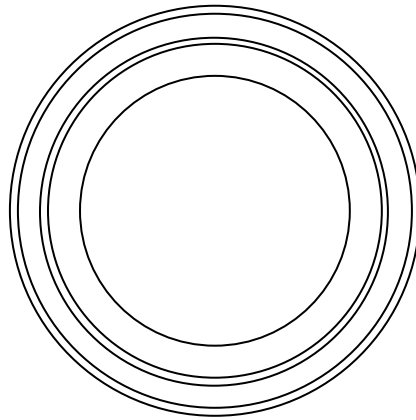
STANDBY スイッチ…スタンバイ制御を開始します。(以下 ST-BY)
ST-BY スイッチで ST-BY ON になり、SFT スイッチ+ST-BY スイッチで ST-BY
OFF になります。
また、メニュー設定”CONSOLE > StbySwMod”を[ON/OFF]に設定する事によ
り、SFT スイッチを用いずに ST-BY スイッチのみで ST-BY ON/OFF を行う事が
可能です。

④-7 JOG/SHUTTLEダイヤル

SHTL

JOG

VAR

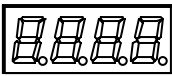


JOG、SHUTTLE、の各制御を行ないます。

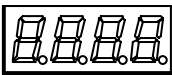
VARを押下するとT-BARでスローコントロールが可能です。

④-8 VAR1/2/3スイッチ

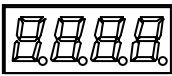
VAR1



VAR2

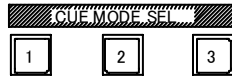


VAR3





固定VARスピードを3個メニューで設定してスイッチを押下することにより設定したスピードで再生します。メニューで設定した数値はボタン下の表示器に表示されます。


④-9 CUE MODE SEL 1/2/3 スイッチ



CUE の登録方法を切替えることが可能です。

-  モード 1…CUE スイッチを押下すると CUE 点が登録されます。
CUE 点を 700 個登録する事が可能です。

-  モード 2…CUE スイッチを押下すると CUE 点がテンキーに登録されます。
また、SFT+テンキー (1~9) でページを切替えることが出来ます。
CUE 点を 90 個登録する事が可能です。
(1 ページにつき 10 個まで CUE 点登録が可能で、9 ページ備えてます)

-  モード 3…IN/OUT スイッチで IN/OUT 点を決定し、ENT スイッチを押下すると
IN/OUT 点を登録します。
IN/OUT 点を 700 個登録する事が可能です。

④-10 SAVE スイッチ



SAVE スイッチ…登録した CUE 点を保存します。

CUE 点を保存したいときに約**3秒間**押下して下さい。

液晶画面に「Cue & Event Saving Please Wait…」と表示されるのを確認し、表示が消えたら CUE 点保存完了です。

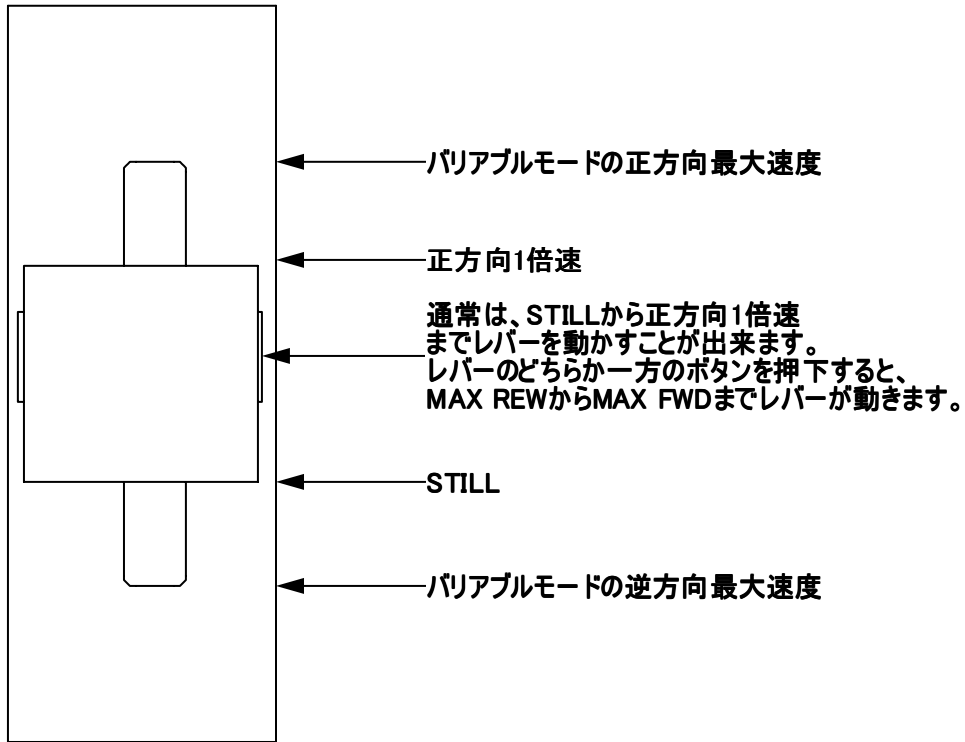
※本操作を行わずに電源を OFF にすると、登録した CUE 点は削除されます。

※電源立ち上げ時は、前回(またはそれ以前)起動時の最後に保存した CUE 点を読み込みます。

※保存した CUE 点を削除するには、メニュー”CONSOLE > EraseEve&Cue”にて Cue 点の削除を行わない、SAVE スイッチを押して下さい。

※セーブ回数に制限があります約 10 万回を超えるとセーブできなくなることがあります。

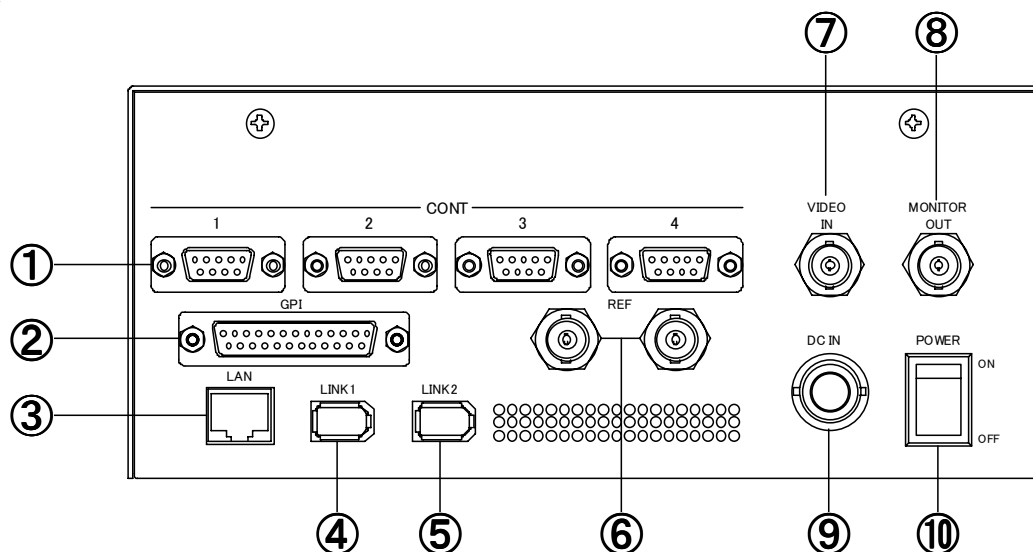
⑤T-BAR



VARボタンを押下してバリアブルモードにします。T-BARを動かすと0～1倍速で再生できます。T-BARのボタンを押下することで正方向1～最大速度/逆方向0～最大速度で動作します。

※最大速度は、オペレーションするVTRによって異なります。

4. 背面パネル各部の名称



- ① CONT (Dsub9F 座コネクター)
RS-422 制御 VTR 及びディスクレコーダーと接続します。
VTR ソフト標準 1 ポート、ディスクソフト標準 2 ポート、オプションで RS-422 を 4 ポートまで増設可能です。
- ② GPI (Dsub25F 座コネクター)
メニューにより設定します。
- ③ LAN (RJ45 用モジュラーコネクター)
パソコンと接続してバージョンアップ等に使用します。
- ④⑤ LINK1/LINK2
弊社 DCP-1000 接続時、又は、バージョンアップ等に使用します。
- ⑥ REF (BNC コネクター)
NTSC 又は PAL 同期信号を入力します。(ループスルー付き)
※本機を PAL 環境で使用する場合には MENU"SYSTEM > \$SysFrmTyp"
を PAL に設定変更して下さい
- ⑦ VIDEO IN (BNC コネクター)
VTR 等の NTSC 映像信号を入力します。
- ⑧ MONITOR OUT (BNC コネクター)
⑦の入力信号にタイムコードとステータス文字をスーパーインポーズして出力します。
※⑦⑧はオプションです。
- ⑨ DC IN
DC 電源を接続します。
故障の原因となりますので専用の AC アダプターを使用して下さい
- ⑩ 電源スイッチ

5. 機能と操作方法

5.1 CUE 操作方法

5.1.1 CUE モードの操作方法

VTR などのタイムコードを MDC-50Tb に記憶させ、頭出しを行なうことが可能です。
(以後 CUE と呼ぶ)登録方式として下記 3 つの方式がありメニューの設定により切替えが可能です。モードの選択は CUE MODE SEL スイッチにて行ないます。

CUE MODE 1・・・TC データを内部メモリーに登録する事が可能です。

(ポート毎に 700 個まで登録可能です)

CUE MODE 2・・・TC データをテンキーに登録する事が可能です。

(ポート毎に 90 個まで登録可能です)

CUE MODE 3・・・TC データを IN 点と OUT 点で登録する事が可能です。

登録された IN 点と OUT 点の間での再生が可能です。

(ポート毎に 700 個まで登録可能です)

5.1.2 CUE の登録

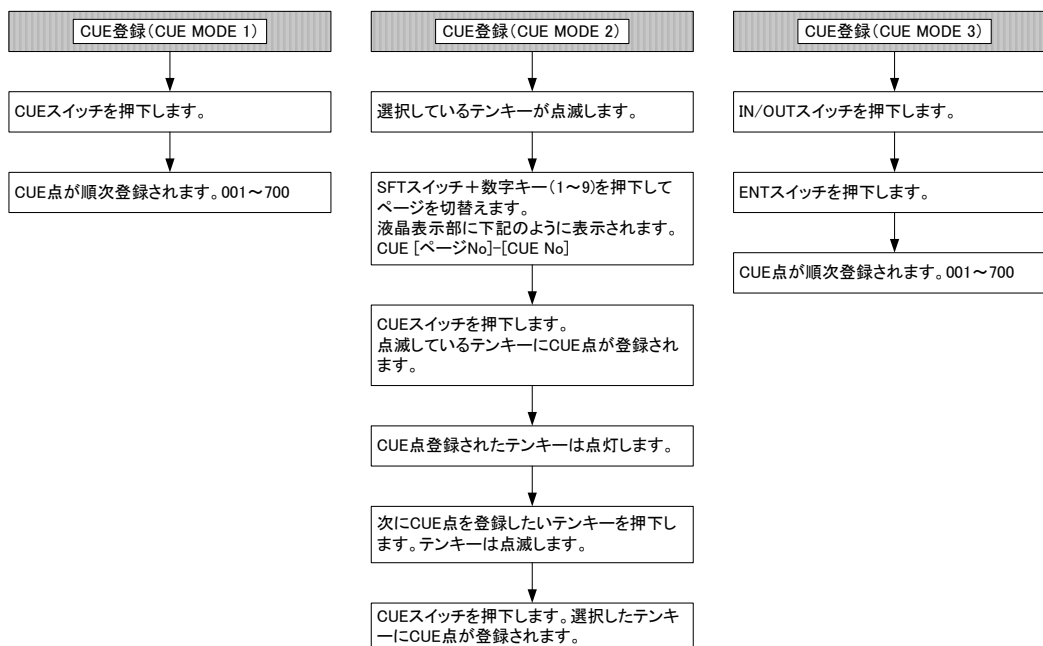
VTR 等を REC/PLAY/STOP させて CUE 点を登録します。

モードにより操作方法が異なりますので、下記操作方を参照して下さい。

各 CUE モードに入るには、CUE MODE SEL 1/2/3 スイッチを押下して下さい。

通常状態で電源を切ると登録した CUE 点は削除されます。電源を切って再度 CUE 点を使用したい時は SAVE スイッチを押す事により CUE 点を登録する事が可能です。

CUE 登録 操作方法

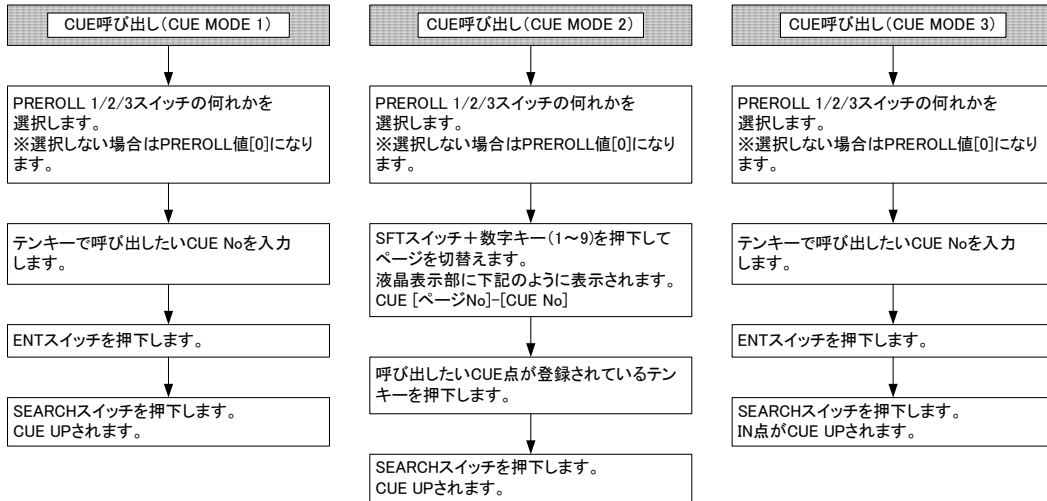


5.1.3 CUE の呼び出し

CUE の呼び出しは、十字スイッチ部で呼び出しを行なう方法と、SEARCH ボタンで呼び出す方法と2種ありモードにより操作方法が異なりますので、下記操作方を参照して下さい。
各 CUE モードに入るには、CUE MODE SEL 1/2/3 スイッチを押下して下さい。

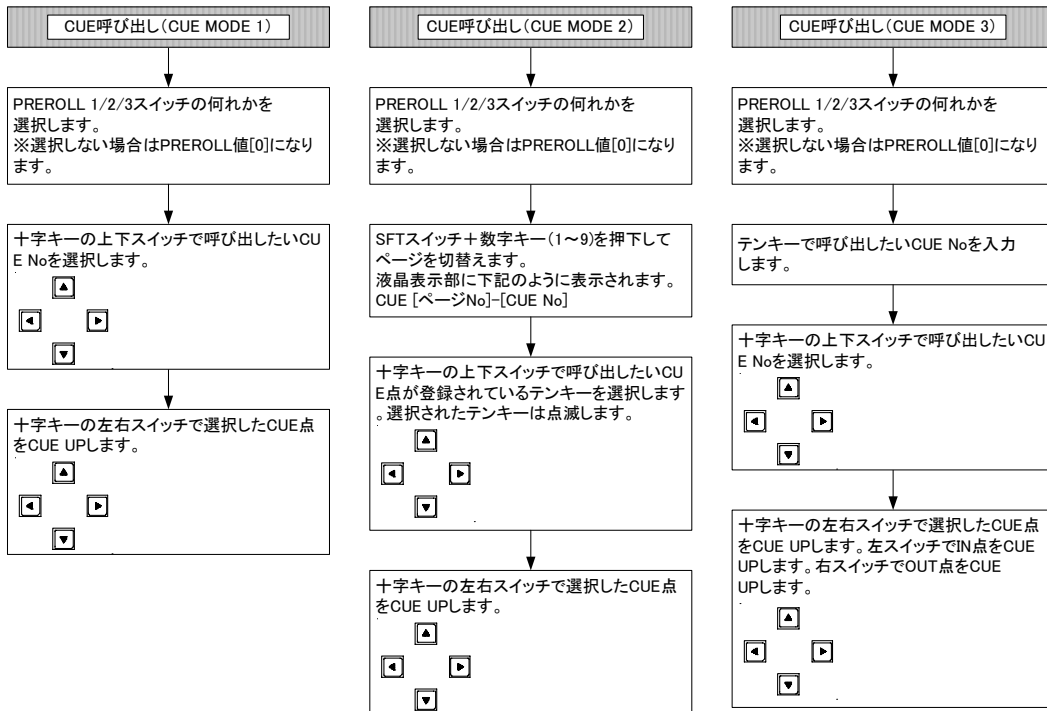
CUE の呼び出し 操作方法1

SEARCH ボタンを使用して呼び出しを行なう方法。



CUE の呼び出し 操作方法2

十字スイッチ部を使用して呼び出しを行なう方法。



5.1.4 CUE の修正方法

修正したい CUE 点を CUE UP します。PLAY 側を選択して、JOG/SHTL 等を使って CUE 点を探します。CUE 点が決まったら SHIFT スイッチ + CUE スイッチを押下します。CUE 点が修正されます。

※CUE モードに入っている時は、SFT スイッチが点灯し保持されています。

CUE の修正を行なう場合は、SFT スイッチが点灯していても SFT スイッチを押下しながら CUE スイッチを押下してください。

※メニューの”CONSOLE > CueInsMod”設定が[OVW]になっているときのみ上書きが可能です。

5.1.5 CUE の消去方法

消去したい CUE 点を選択し、SHIFT スイッチ + 0 (CLR) スイッチを押すと選択した CUE 点が削除されます。

<CUE MODE 1/3 の時の CUE 点選択方法>

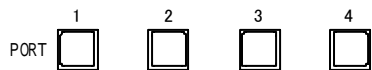
- テンキーにて CUE No を入力し、ENT スイッチを押して下さい。
- 十字キーの上下キーにて CUE No を選択して下さい。

<CUE MODE 2 の時の CUE 点選択方法>

- SFT スイッチ + 数字キー (1~9) でページを選択し、選択したい CUE 点が登録されているテンキーを押して下さい。
- SFT スイッチ + 数字キー (1~9) でページを選択し、十字キーの上下キーで選択したい CUE 点が登録されているテンキーを選択して下さい。

5.2 複数台の同時記録再生

メニューの設定をすることにより、設定されたポートが同時に REC/PLAY/CUE UP します。ポートの選択方法は、ポート選択ボタンで同時に動作させたいポートを選択(点灯)させ、REC/PLAY/CUE UP の操作を行ないます。



メインメニュー”CONSOLE > PortCtMode”を[ParaSel]に設定します。

SFT スイッチ+PORT スイッチを押下してマスタになる VTR を選択します。

選択した PORT スイッチが点滅します。

同時に REC/PLAY/CUE UP させたい VTR の PORT スイッチを押下します。選択したスイッチが点灯します。

REC/PLAY/CUE UP 操作を行なうと選択された VTR が同時に動作を開始します。

基本操作は、前に記載している操作と同じです。

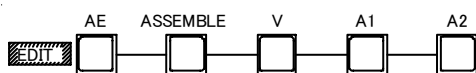
CUE UP に関して、メインメニュー”CONSOLE > ParaSchMod”で、マスタのタイムコードで一斉 CUE UP するか、あらかじめ各ポートで登録している CUE 点を CUE 番号で一斉 CUE UP するか設定できます。

※オプション等で RS422 ポートが複数ある場合有効になります。RS422 ポートが

1ポートしかない場合は、通常動作と同じ動作しかしません。

※このモードを使用するときは、REF 端子に同期信号を入力して下さい。

5.3 簡易編集機能



2 台の VTR を使って編集を行なうときに使用します。

・VTR 同士の編集

メニュー”CONSOLE > AE Rec Port”、”CONSOLE > AE Play Port”により RS422 ポートの RECORDER/PLAYER の設定を行ないます。AE スイッチを押下し点灯させ編集モードに入ります。

ポートセレクトスイッチで RECORDER 側ポートを選択して IN/OUT スイッチで IN 点と OUT 点を決めます。同様に、ポートセレクトスイッチで PLAYER 側ポートを選択して IN/OUT スイッチで IN 点と OUT 点を決めます。ASSEMBLE スイッチか V/A1/A2 スイッチを選択して (DA1～DA8 の選択場合はテンキーで選択します。)アッセンブルモード編集で編集するかインサートモード編集で編集するかを選択します。

REC スイッチを押下するとプレビューします。

SFT スイッチ+REC スイッチで記録を開始します。

EDIT モードを抜ける場合はもう一度 AE スイッチを押下してボタンを消灯させて下さい。

AE スイッチ ……編集モードに入ります。

ASSEMBLE スイッチ……アッセンブルモード編集を行ないます。

V/A1/A2 スイッチ……インサートモード編集を行ないます。

※VTRで編集を行なう場合メニュー”RS-422 PORT > EdtPrsStsLen”を 2 にしてください。

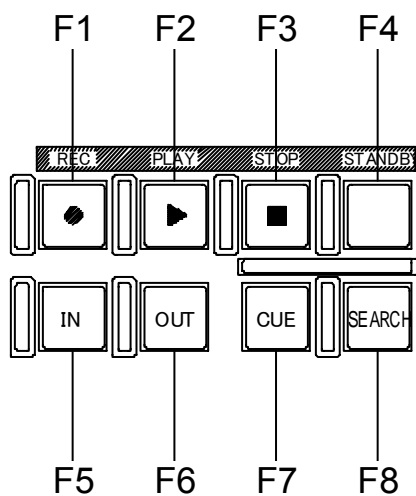
※VTR 側のオートエディット機能は使用していません。

※VTR 接続確認済みパラメータ設定一覧 (メニュー項目はメニュー一覧をご覧ください。)

接続VTR	EditInOffset 設定	EditOutOffset 設定
デフォルト設定	5	5
HDW-2000	5	5
AJ-HD3700B	4	3

5.4 キーアサインの変更

メニュー設定により下記キーアサインを変更することが出来ます。



- 1) メニュースイッチを押下し、メニューに入ります。
- 2) メインメニュー “CONSOLE”で ENT を押下します。
- 3) ↑ ↓キーでメニューをスクロールし、“KeyAsn Fnc1~8”の設定を＋キーで 変更し、ENT キーを押下し、アサインを変えます。

※シルク及びボタン彫刻の変更は出来ません。

	機能
Disable	機能しない
REC	REC 機能
PLAY	PLAY 機能
STOP	STOP 機能
ST-BY	ST-BY 機能
IN	IN 点録機能
OUT	OUT 点登録機能
CUE	CUE 登録機能
SEARCH	CUE UP 機能
ENT	ENT 機能

6. Disk Soft 使用時の機能と操作方法

6.1 CoupLing 機能

Disk Recorder を使用し、REC ポートで収録しながら PLAY ポートで再生させることが可能です。また、収録映像に対して、CUE 点を登録し、PLAY ポートから、登録した CUE 点を呼び出し、再生/スロー再生させることが出来ます。収録中に再生映像に対しても、CUE 点を登録し、PLAY ポートから、登録した CUE 点を呼び出し、再生/スロー再生させることが出来ます。

1台の Disk Recorder に対して、2台の MDC-50Tb 接続が可能です。その場合は、メニュー設定により、MDC-50Tb ID 設定を2台別々の ID 設定にして使用してください。

メインメニュー LAN/LIN の "\$UnitID" で設定できます。

※同じ ID で収録するとファイル名が同じものになり、REC されません。

※収録直後の映像が再生制御可能になるまでの期間が Disk Recorder によって異なるため、MDC-50Tb からの、収録直後の映像に対する CUE UP 操作に Delay をかける必要があります。メインメニューの "RS-422 > RecTcSchDly" 項目を、ご使用の Disk Recorder に合わせて設定して下さい。（*設定値は各デバイスメーカーにお問い合わせ下さい）

6.1.1 CoupLing 機能の設定

- 1) メインメニューの "CONSOLE" を ENT し ↑ / ↓ (項目移動) で、"PortCtlMode" を選択し、+ / - (設定移動) スイッチで "Coupling" を選択し ENT スイッチを押下します。
- 2) 次に、メインメニューの "CONSOLE" の "P1~4EvCueArea" と "P1~4FListArea" を選択し、+ / - (設定移動) スイッチで ABCD の中からエリアを選択し ENT スイッチを押下します。

※この設定は、CUE を登録するエリアの設定になります。ディスクの場合は、REC のタイムコードに対しての CUE 点と PLAY のタイムコードに対しての CUE 点をそれぞれ呼び出せるようにするために、エリアを REC ポートと PLAY ポート同じにする必要があります。このため、1ポートあたり700個のCUE点が登録できますが、この設定の場合2ポートで700個のCUE登録数になります。

設定例

ポート1と2をディスクと接続し、ポート3と4はVTRを接続する場合 "P1EvCueArea" から "P4EvCueArea" の設定は下記の様になります。

P1EvCueArea→A
P2EvCueArea→A
P3EvCueArea→C
P4EvCueArea→D
P1 FListArea→A
P2 FListArea→A
P3 FListArea→C
P4 FListArea→D

- 3) 次に、メインメニューの”RS422”を ENT し ↑ / ↓ (項目移動) ボタンで、”PrtclTyp”を選択し、+ / - (設定移動) ボタンでプロトコルを選択し ENT スイッチを押下します。

※MAV の場合は”MAV”に DR1000 の場合は”9PIN”に設定してください。

- 4) 次に、メインメニューの”EXTENSION-1”を ENT し ↑ / ↓ (項目移動) スイッチで、”P1-RecCplg”を選択し、← / → (カーソル移動) キーと + / - (設定移動) スイッチを使って、REC コマンドをどのポートから出すかを設定します。

※この設定は、ポート選択ボタンを PLAY 側のポートを選択していても REC ボタンを押下すると REC ポートから REC コマンドを出すようにする設定です。

設定例

ポート1と2をディスクと接続し、(ポート1REC、ポート2PLAY) ポート3と4はVTRを接続する場合”P1-RecCplg”から”P4-RecCplg”の設定は

P1-RecCplg→0001

P2-RecCplg→0001

P3-RecCplg→0100

P4-RecCplg→1000

- 5) 次に、メインメニューの”EXTENSION-1”の”P1-PlayCplg”を選択し、← / → (カーソル移動) スイッチと + / - (設定移動) スイッチを使って、PLAY コマンドをどのポートから出すかを設定します。

※この設定は、ポート選択ボタンを REC 側のポートを選択していても PLAY スイッチなどを押下すると PLAY ポートから PLAY などのコマンドを出すようにする設定です。

設定例

ポート1と2をディスクと接続し、(ポート1REC、ポート2PLAY) ポート3と4はVTRを接続する場合”P1-PlayCplg”から”P4-PlayCplg”の設定は

P1-PlayCplg→0010

P2-PlayCplg→0010

P3-PlayCplg→0100

P4-PlayCplg→1000

以上の設定で、収録しながら再生する事が可能になります。

※SONY DSR-DR1000 を接続する場合は、DSR-DR1000 の設定を”Interface”

”Remot I/F”を”9P Dual”にしてください。9PIN で PLAY 側と REC 側が制御可能になります。

6.1.2 その他の設定

通常VTRをコントロールする場合の出荷時の設定です。

”PoartCtMode” → **Normal**

P1EvCueArea → **A**

P2EvCueArea → **B**

P3EvCueArea → **C**

P4EvCueArea → **D**

P1 FListArea → **A**

P2 FListArea → **B**

P3 FListArea → **C**

P4 FListArea → **D**

P1-RecCplg → **0001**

P2-RecCplg → **0010**

P3-RecCplg → **0100**

P4-RecCplg → **1000**

P1-PlayCplg → **0001**

P2-PlayCplg → **0010**

P3-PlayCplg → **0100**

P4-PlayCplg → **1000**

6.2 Disk Recorder 使用時のファイル管理に関して

Disk Recorder を使用するときには、MDC-50Tb からファイルを作成する事が可能です。ファイル名は、”M0110000”の様なファイル名が Disk Recorder に作成されます。REC、STOPを繰り返すたびに、ファイルを作成しますので、ファイル名は”M0110001””M0110002”のように下四桁が変わっていきます。0000～9999までファイル番号が作成されます。9999を過ぎると、ファイル名は、0000からまた作成されます。ファイル名の意味合いを下記に説明します。

M	0	1	1	0	0	0	0
	MDC ID番号	MDC ポート番号	MDC ポート番号	ファイル番号 0000～9999			

ファイル名はメニューによりファイル番号を指定して作成することが可能です。設定は、メインメニューの”**CONSOLE**”を選択し、”**P1～4RecFno**”を選択して変更します。

ファイル名の確認

SFTスイッチを押下すると、選択されているポートのファイル名が表示されます。

DiskRecorder にあるファイルの読み込み

MDC-50Tb から Disk Recorder にあるファイルの読み込みが出来ます。

SFT+CUE MODE SEL3 スイッチを押下すと FILE LIST MODE になり、液晶表示に”FILE LIST 0”と表示されます。次に、**SFT+ENT** スイッチを押下します。Disk Recorder からファイルを読み込みます。

液晶表示に、”FLIST 001 ファイル名”が表示されます。↑/↓(項目移動)スイッチでファイルを選択し、**SEARCH** スイッチを押下すと選択したファイルが PLAY ポートに読み込まれます。

※MDC-50Tb へのファイル名の読み込みは 200 個までです。

ファイルが 200 個以上ある場合は、それ以上のファイル名は読み込まれません。

DiskRecorder にあるファイルの削除

MDC-50Tb から Disk Recorder にあるファイルの削除が出来ます。

FILE LIST MODE で削除したいファイルを選択し、PLAYポートに読み込み、**SFT+CLR** スイッチを長押しすると、ファイルの削除が出来ます。

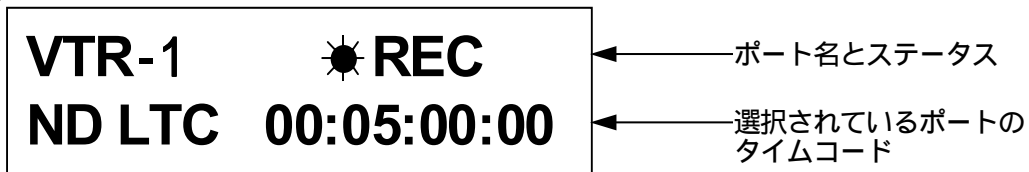
※ファイルの削除を行うにはメニューの設定が必要です。メインメニューの”**CONSOLE**”内、”**FdelOprEna**”項目を”**Enable**”に設定して下さい。

7. スーパーインポーズ(オプション)

オプションのCGボードを使い、モニターにタイムコードと登録したCUE点を表示させることが可能です。スーパーの表示は、MDC-50Tbの液晶表示機に表示されているものがモニターに表示されます。

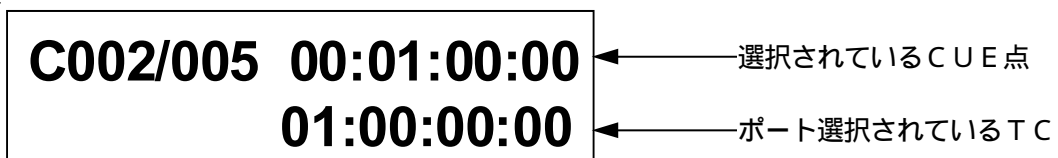
表示内容を下記に説明します。

(通常表示)

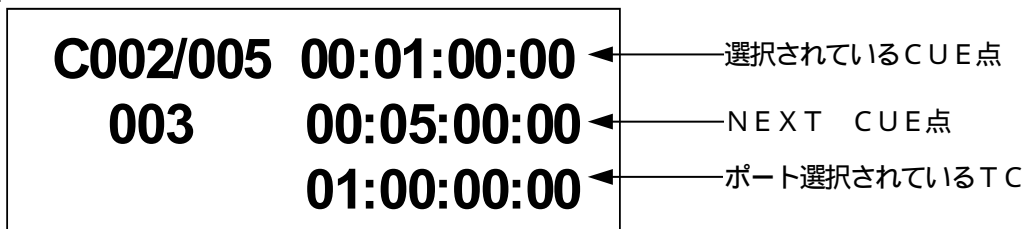


(CUEモード表示)

NEXT 表示無し(MODE2)



NEXT 表示(MODE1)



- ① メインメニューの"CONSOLE"をENTし↑/↓(項目移動)キーで"CG DispMod"を選択し、+/- (設定移動)キーでスーパーの表示モードを選択しENTボタンを押下します。

- ・"OFF" : 表示 OFF
- ・"ON-1" : 背景有り
- ・"ON-2" : 背景無し

次に、"CG Posi"を選択し、+/- (設定移動)キーでスーパー表示の行位置を選択し、スーパーの位置を決めます。

- ③ CGDispTypによりCUEモード表示の選択が可能です。

- ※MODE1 表示あり
- ※MODE2 表示無し

※ PAL で使用する場合、画面の下部へのスーパー表示は行えません。

8. GPI機能と操作方法

8.1 機能説明

本機は、GPIの機能を設定する事が可能です。GPI端子は入力8Bitと出力8Bitあり入力に対してはPLAY・STOP・REC・等を割り付ける事が可能です。同様に出力についても設定する事が可能です。又OA INHI機能も装備していますので、OAが来ている時、特定のスイッチの操作を効かなくする事も可能です。

8.2 ピンアサイン詳細

GIP IF (Dsub 25pin メス座)

1	NC	
2	NC	
3	OUT1	ポート2 "OutLw-Ptn"の設定による
4	OUT3	ポート4 "OutLw-Ptn"の設定による
5	OUT5	ポート2 "OutHi-Ptn"の設定による
6	OUT7	ポート4 "OutHi-Ptn"の設定による
7	GND	
8	GND	
9	IN1	ポート2 "Inp1-LwPtn"の設定による
10	IN3	ポート4 "Inp1-LwPtn"の設定による
11	IN5	ポート2 "Inp1-HiPtn"の設定による
12	IN7	ポート4 "Inp1-HiPtn"の設定による
13	NC	
14	NC	
15	OUT0	ポート1 "OutLw-Ptn"の設定による
16	OUT2	ポート3 "OutLw-Ptn"の設定による
17	OUT4	ポート1 "OutHi-Ptn"の設定による
18	OUT6	ポート3 "OutHi-Ptn"の設定による
19	GND	
20	GND	
21	IN0	ポート1 "Inp1-LwPtn"の設定による
22	IN2	ポート3 "Inp1-LwPtn"の設定による
23	IN4	ポート1 "Inp1-HiPtn"の設定による
24	IN6	ポート3 "Inp1-HiPtn"の設定による
25	NC	

8.3 設定方法詳細

入出力ピンの設定

本機の GPI 入出力は、それぞれ機能を設定する事が可能です。

設定は上位4Bit と下位4Bit の入出力 Pin の機能を割り当てる事により実現可能です。

入力ピン設定方法詳細

上位4Bit と下位4Bit の入力の設定は下記設定が可能です。

メニューの”GPI”の”InpLw”と”InpHi”で設定可能です。下記に示す様に設定が可能です。

Disable	IN0～3の GPI 入力を禁止します。
OA-C	IN0～3がポート1～4に対して OA INHI 設定されます。
STOP-C	IN0～3がポート1～4に対して STOP 設定されます。
PLAY-C	IN0～3がポート1～4に対して PLAY 設定されます。
REC	IN0～3がポート1～4に対して REC 設定されます。
CUE-C	IN0～3がポート1～4に対して CUE 設定されます。
SEARCH-C	IN0～3がポート1～4に対して SEARCH 設定されます。
STANDBY-C	IN0～3がポート1～4に対して STANDBY 設定されます。
REMA1-C	IN0～3の各 BIT に機能の A 割付が可能です。この時ポートは1に固定します。
REMA2-C	IN0～3の各 BIT に機能の A 割付が可能です。この時ポートは2に固定します。
REMA3-C	IN0～3の各 BIT に機能の A 割付が可能です。この時ポートは3に固定します。
REMA4-C	IN0～3の各 BIT に機能の A 割付が可能です。この時ポートは4に固定します。
REMB1-C	IN0～3の各 BIT に機能の B 割付が可能です。この時ポートは1に固定します。
REMB2-C	IN0～3の各 BIT に機能の B 割付が可能です。この時ポートは2に固定します。
REMB3-C	IN0～3の各 BIT に機能の B 割付が可能です。この時ポートは3に固定します。
REMB4-C	IN0～3の各 BIT に機能の B 割付が可能です。この時ポートは4に固定します。

※REM 機能の A 割付

上記 REMA 1-4 の設定に対する各 Bit の割付を下記に示す。

IN0	STOP
IN1	PLAY
IN2	FREW
IN3	FFOR

※REM 機能の B 割付

上記 REMB 1-4 の設定に対する各 Bit の割付を下記に示す。

IN0	REC
IN1	CUE
IN2	SEARCH
IN3	ST-BY ON

OA INHI 機能

GPI に入力が入った時下記のスイッチが操作出来なくなります。

OA INHI を使用する時はメインメニューConsole の”OA-Inhi”を ON にしてください。

OA 中に効かないボタン一覧

•REC
•PLAY
•STOP
•ST-BY
•JOG ダイアル
•VAR
•JOG
•STL
•SEARCH
•AE/IN/OUT

※OA が来ているときに CUE の登録はできますが、CUE UP 制御はできません。

9. メニュー設定及び操作方法

9.1 メニューの操作方法



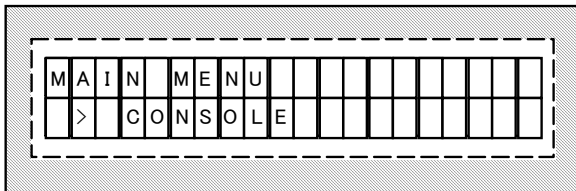
メニューモードに入るスイッチです。再度押下するとメニューモードが解除されます。

※CUE MODE に入っているときは MENU スイッチを押下してもメニューに入れません。

ESC スイッチで CUE MODE を抜けてから MENU スイッチを押下して下さい。

メニューの操作はテンキー部の **SFT ボタン+↑/↓**(項目移動)**←/→**(カーソル移動)**+ / -**(設定移動)キーを使用してメニューの移動と変更を行ないます。

MENU スイッチを押下すると SHIFT スイッチが点灯し SHIFT 状態が保持されます。



メインメニュー

> CONSOLE

> RS-422 PORT

> GPI

> LAN/LINK

> SYSTEM

> EXTENSION-1(ディスクソフトのみ表示)

SFT スイッチ+↑/↓(項目移動)で項目を移動して **ENT** スイッチを押下します。メインメニューからサブメニューに移ります。(メニュー一覧参照)サブメニューに入り **SFT スイッチ+↑/↓**(項目移動)で項目を移動し、**+ / -**(設定移動)キーで設定を移動します。**ENT** キーを押して設定変更します。

9.2 メニューの保存と読み出し方法

9.2.1 メニューの保存

メニューモードに入り SYSTEM の”#CfgBnkSv”で現在設定しているメニューの保存が可能です。

メニューの保存は8個登録できます。

登録方法は、”#CfgBnkSv”内で－＋スイッチにより **Bank1～8**”の何れか SAVE したい Bank を選び ENT スイッチを押すとメニュー内容が指定されたバンクへ保存されます。

※セーブ後リスタートがかかります。

9.2.2 メニューの読出し

メニューモードに入り CONSOLE の”#CfgBnkLd”で事前に保存したメニュー内容を読み出すことが可能です。

読出し方法は、”#CfgBnkLd”内で－＋スイッチにより **Bank1～8**”の何れか LOAD したい Bank を選び ENT ボタンを押します。

指定されたバンクからメニュー内容が読み出され現在の設定に反映されます。データの無い Bank を選ぶと LOAD 時に”NoData”と表示されます。

※ロード後リスタートがかかります。

9.3 メニュー一覧とエラー表示

先頭が"\$~"となっている項目は、その変更を有効にするには、電源再投入の必要があります。*******は、デフォルト設定です。

項目メイン	サブ項目	設定
CONSOLE	EraseEve&Cue	NoErase クリアしません(誤操作防止用) Port1 ポート1に割当てられている CUE データ保管エリアをクリア Port2 ポート2に割当てられている CUE データ保管エリアをクリア Port3 ポート3に割当てられている CUE データ保管エリアをクリア Port4 ポート4に割当てられている CUE データ保管エリアをクリア ALL 全ポートに割当てられている CUE データ保管エリアをクリア 登録した Cue 点をクリアします。
CONSOLE	OA-Inhi	OFF OA 中でも操作(制御)が可能です ON OA 中、操作(制御)を禁止します GPI を使って OA 中の操作を ON/OFF します(P.26~P.27 参照)
CONSOLE	Preroll-1	"00:00~09:29"(Def=00:00) Preroll-1 のプリロールタイム設定 (CUE UP したときのプリロールタイムの設定です)
CONSOLE	Preroll-2	"00:00~09:29"(Def=03:00) Preroll-2 のプリロールタイム設定 (CUE UP したときのプリロールタイムの設定です)
CONSOLE	Preroll-3	"00:00~09:29"(Def=05:00) Preroll-3 のプリロールタイム設定 (CUE UP したときのプリロールタイムの設定です)
CONSOLE	\$DefCueModeSel	Mode1 CUE ボタンモード Mode2 テンキーモード Mode3 IN/OUT ボタンモード 電源立ち上げ時の CUE モードを設定します
CONSOLE	CueInsMod	Apnd CUE 登録したときに最後に登録されます Ins 呼び出した CUE の前に登録されます Ovw 呼び出した CUE に上書きされます CUE を呼び出した後の CUE 登録動作の選択をします
CONSOLE	AutoCueup	Disable 機能しない Enable 機能する CUE を呼び出したときに SEARCH ボタンを押さなくても CUE UP するかを選択します
CONSOLE	CueAutoInc	Disable 上書き登録 Inc 上書き登録後、次に進みます Search 次の空きを探して登録します CUE MODE SEL2 選択時に、CUE 登録割り当ての方法を設定します
CONSOLE	AfterCueup	Disable StopComdSel で設定した状態になります Shtl SHTL 状態になります Jog JOG 状態になります T-Bar VAR 状態になります CUE UP 後の状態設定
CONSOLE	SchEnaMod	Normal Rec 中は CUE UP 禁止 Rec Rec 中でも強制 Cueup 許可 Rec 中に CUE UP させるかの設定(VTR 使用時)
CONSOLE	ParaSchMod	Tc マスタ Port の Tc 値 で 一斉 Cueup Cue No マスタ Port の Cue 番号で(各 Port の Bank 別の同 Cue 番号 Tc 値で) 一斉 Cueup ParaSel モード使用時の CUE UP 方法の設定
CONSOLE	CtlDspMod	24H 24H表示します 12H ±12H表示します CTL カウントを 24 時間表示にするか 12 時間表示にするかを選択します

項目メイン	サブ項目	設定
CONSOLE	CtlResetMod	CmdSend CTL RESET コマンドを送信し、デバイスの CTL 表示と MDC の表示をリセットします Emu MDC の表示のみをリセットします(デバイスの CTL はリセットされません)
CONSOLE	CtlPresetTc	00:00:00:00~23:59:59:29(Def=00:00:00:00) CTL Reset 時の PresetTc. ・但し "CtlResetMod" の設定に依存. ・"CmdSend": コマンド送信でプリセット. ・"Emu": MDC50T 内部計算で見かけ上のプリセット
CONSOLE	LtcgPreset	00:00:00:00~23:59:59:29 (Def=00:00:00:00) ・TC + RESET 押下時に送信される LTC Gen 値 ・本値の送信が機器に反映されるかは機器側の LTC ジェネレータモード に依存します
CONSOLE	VAR-1	"-999%~999%"(Def=100%) VAR-1 のスピードを設定します
CONSOLE	VAR-2	"-999%~999%"(Def=50%) VAR-2 のスピードを設定します
CONSOLE	VAR-3	"-999%~999%"(Def=30%) VAR-3 のスピードを設定します
CONSOLE	StbySwMod	ON OFF するときは SHIFT+ST-BY スイッチで ST-BY OFF になります ON/OFF ON/OFF が ST-BY スイッチでトグル動作になります ST-BY スイッチの動作を選択します
CONSOLE	StopSwDisp	Normal StopSw は停止時常に点灯します RefSts 違う Ref 信号が入力された時、StopSw が点滅して警告します
CONSOLE	Up/DwCsrMod	Normal 常にスクロール操作が有効 +Sift シフトキーを押しながら操作が有効 十字キーの上下キー操作モードの設定
CONSOLE	Lf/RtCupEna	Disable CUE MODE 時、操作を禁止します Enable CUE MODE 時、操作を可能にします 十字キーの左右キー操作モードの設定
CONSOLE	PushDis	Normal すべて機能します PushDis ダイアルのプッシュを無効にする JOG ダイアルのプッシュで JOG/SHTL 及び JOG/SHTL ボタンの切替の ON/OFF の設定します(MDC-50Tb では使用できません)
CONSOLE	SpdChgModPt1	Normal MDC50Tb 優先 Model VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR を解除します VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR 状態の扱いをポート1に設定します。
CONSOLE	SpdChgModPt2	Normal MDC50Tb 優先 Model VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR を解除します VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR 状態の扱いをポート2に設定します。
CONSOLE	SpdChgModPt3	Normal MDC50Tb 優先 Model VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR を解除します VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR 状態の扱いをポート3に設定します。
CONSOLE	SpdChgModPt4	Normal MDC50Tb 優先 Model VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR を解除します VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR 状態の扱いをポート4に設定します。
CONSOLE	RecStopMod	Normal STOP スイッチで REC が止まります +Shift SFT&STOP スイッチで REC が止まります REC を STOP させる方法を設定します。※VTR 操作時

項目メイン	サブ項目	設定
CONSOLE	PortCtlMode	Normal VTRの制御を行いません ParaSel VTRソフト使用時、SYNC REC/PLAY/CUE UPを行いません Coupling ディスクレコーダーの撮って出しを行いません ※Coupling はディスクソフト使用時のみ設定できます
CONSOLE	P1EveCueArea	AREA-A CUEを700個登録できます AREA-B CUEを700個登録できます AREA-C CUEを700個登録できます AREA-D CUEを700個登録できます ポート1のCUEデータの保管エリアを設定します
CONSOLE	P2EveCueArea	AREA-A CUEを700個登録できます AREA-B CUEを700個登録できます AREA-C CUEを700個登録できます AREA-D CUEを700個登録できます ポート2のCUEデータの保管エリアを設定します
CONSOLE	P3EveCueArea	AREA-A CUEを700個登録できます AREA-B CUEを700個登録できます AREA-C CUEを700個登録できます AREA-D CUEを700個登録できます ポート3のCUEデータの保管エリアを設定します
CONSOLE	P4EveCueArea	AREA-A CUEを700個登録できます AREA-B CUEを700個登録できます AREA-C CUEを700個登録できます AREA-D CUEを700個登録できます ポート4のCUEデータの保管エリアを設定します
CONSOLE	P1FlistArea	AREA-A FILE名を200個登録できます AREA-B FILE名を200個登録できます AREA-C FILE名を200個登録できます AREA-D FILE名を200個登録できます ポート1のFile Listの保管エリアを設定します
CONSOLE	P2FlistArea	AREA-A FILE名を200個登録できます AREA-B FILE名を200個登録できます AREA-C FILE名を200個登録できます AREA-D FILE名を200個登録できます ポート2のFile Listの保管エリアを設定します
CONSOLE	P3FlistArea	AREA-A FILE名を200個登録できます AREA-B FILE名を200個登録できます AREA-C FILE名を200個登録できます AREA-D FILE名を200個登録できます ポート3のFile Listの保管エリアを設定します
CONSOLE	P4FlistArea	AREA-A FILE名を200個登録できます AREA-B FILE名を200個登録できます AREA-C FILE名を200個登録できます AREA-D FILE名を200個登録できます ポート4のFile Listの保管エリアを設定します
CONSOLE	AE PreRolSec	"3~60 sec" (Def=5) 簡易編集機能でのプリロール指定
CONSOLE	AE PstRolSec	"0~60 sec" (Def=5) 簡易編集機能でのポストロール指定
CONSOLE	AE Rec Port	Port1 Port2 Port3 Port4 簡易編集機能でのRecポート選択

項目メイン	サブ項目	設定
CONSOLE	AE Play Port	Disable Port1 Port2 Port3 Port4 簡易編集機能での Play ポート選択
CONSOLE	AE InTcSetMd	Normal EditIn 点は,IN ボタン操作でのみ設定 Model EDIT 実行後,その時の EditOut 点を,自動的に次の EditIn 点にする
CONSOLE	P1RecFno	"0000~9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	P2RecFno	"0000~9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	P3RecFno	"0000~9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	P4RecFno	"0000~9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	FdelOprEna	Disable ファイル削除を禁止する Enable ファイル削除を許可する MDC50Tb によるファイル削除操作禁止の設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	KeyAsn Fnc1	スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc2	スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc3	スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc4	スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc5	スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc6	スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc7	スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc8	スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	CG DispSw	OFF 表示 OFF ON-1 黒背景有り ON-2 黒背景無し スーパー表示の ON/OFF ※オプション
CONSOLE	CG Posi	0~9(Def=9) スーパー表示の行位置を設定します
CONSOLE	CG DispTyp	MODE1 CUE NEXT 表記有り MODE2 CUE NEXT 表記無し NEXT スーパーの表示有無設定
CONSOLE	CG V Adj	0~31(Def=3) メンテナンスで使用します(スーパーの縦位置補正)
CONSOLE	CG H Adj	0~31(Def=4) メンテナンスで使用します(スーパーの横位置補正)
CONSOLE	\$PnlMode	Normal MDC-50Tb 標準機能 Model パネルモード 1(操作パネル全部を PC に解放) Mode2 パネルモード 2(TC7SEG 表示と Dial と J/S/V のみ自身で制御) 外部(PC)から制御を行なうときに使用します ※通常は設定を変えないでください

項目メイン	サブ項目	設定
CONSOLE	InitConfig	NoInit 初期化しません(誤操作防止用) Port1 ポート1の RS422 PORT 設定を初期化します Port2 ポート2の RS422 PORT 設定を初期化します Port3 ポート3の RS422 PORT 設定を初期化します Port4 ポート4の RS422 PORT 設定を初期化します System RS422 PORT 設定以外の、メニュー設定を初期化します ALL すべて初期化します Config を初期化します
CONSOLE	#CfgrBnkLd	Non バンク呼び出しをしません(誤操作防止用) Bank1/ Bank2/ Bank3 /Bank4 /Bank5 /Bank6 /Bank7 /Bank8 メニュー設定を登録したバンクを呼び出します

※RS-422 PORT 設定はポート(PORT1~PORT4)毎に設定可能です。

PORT No スイッチを押して、設定したいポートを選択して、設定を行ってください。

項目メイン	サブ項目	設定
RS-422 PORT	PortName	8 文字 (Def="VTR-1~4") ポート名称
RS-422 PORT	PrtclTyp	THR スルー通信 9PIN VTR プロトコル Odetics ODETICS プロトコル(ディスクソフト使用時のみ設定できます) MAV MAV プロトコル(ディスクソフト使用時のみ設定できます) ・"MAV" は MAV555/777 を制御可能にします ・スルー通信は、PC と接続してのシステムの時などで、特殊なプロトコル通信を行う場合に設定します ・"THR"にしたポートは、そのLCD表示は"OFFLINE"表示になり、パネル上での操作も不可能になります(PC と接続してのシステム用です)
RS-422 PORT	FrameType	NTSC-DF ドロップフレーム制御 NTSC-NDF ノンドロップフレーム制御 ・ドロップ・ノンドロップフレーム制御を設定します ・"SYSTEM > \$SysFrmTyp" を PAL に切り替えると、連動して PAL 設定固定になります
RS-422 PORT	DF-Mode	Device VTR のステータスにより、DF/NDF を切り替えます。 Fix FrameType で設定した DF/NDF で制御を行いません
RS-422 PORT	StbyOffTmr	DISABLE 機能しない(VTR 設定で動作) 30sec 30 秒 60sec 60 秒 03min 3 分 05min 5 分 08min 8 分 15min 15 分 30min 30 分 スタンバイ OFF タイマー設定 (STANDBY ON 操作時に送信)
RS-422 PORT	StbyOnMod	Normal Standby On コマンドのみ送信 OffTmrReset Standby Off Timer の Reset コマンド も送信(SONY 機器向け) STBY ボタン(ON 時)の時指定
RS-422 PORT	StopCmdSel	STOP ストップ Var-Still バリアブル・スタイル Jog-Still ジョグ・スタイル Shtl-Still シャトル・スタイル STOP ボタンを押したときに使用するコマンドの設定です
RS-422 PORT	StepCmdTyp	Normal Doremi ・Step コマンドの選択現在の所、ドレミのみ対応 ・通常は Normal で使用してください

※RS-422 PORT 設定はポート(PORT1~PORT4)毎に設定可能です。

PORT No スイッチを押して、設定したいポートを選択して、設定を行ってください。

項目メイン	サブ項目	設定
RS-422 PORT	ShtlMaxTyp	<p>×4/×8/×16/×32/×50/×60/×100/×200/MAX</p> <p>FF/FR</p> <p>SHTL 最大スピードの設定です</p>
RS-422 PORT	T-BarMaxType	<p>×4/×8/×16/×32/×50/×60/×100/×200/MAX</p> <p>FF/FR</p> <p>T-Bar 最大スピードの設定です</p>
RS-422 PORT	CueupCmdTyp	<p>Normal</p> <p>Doremi</p> <p>Cueup コマンドの選択ドレミ使用時のみ設定を”Doremi”にしてください</p>
RS-422 PORT	CueupTcType	<p>TC パネルの TC 選択ボタン=TC 時のみ CUE 等の登録が 可となる</p> <p>CTL パネルの TC 選択ボタン=CTL 時のみ CUE 等の登録が 可となる</p> <p>Auto パネルの TC 選択ボタン=TC/CT 時どちらでも CUE 等の登録が 可となる</p> <p>Disable “TimerModeSelect”コマンドを受付けない VTR など。 パネルの TC 選択ボタン=TC/CTL 時 どちらでも CUE 等の登録が 可となってしまうが、Cue up 時の TC 種別は制御しないのでその動作は操作者依存</p> <p>CUE 等の登録 TC 種別の指定 (Cueup コマンド送信時の “TimerModeSelect” コマンド(VTR コマンド)の送信指定)</p>
RS-422 PORT	RecTcSchDly	<p>“0~150”(Def=0)</p> <p>収録直後の映像に対する CUE UP 操作に DELAY をかけます</p>
RS-422 PORT	ReqStsLen	<p>“0~15”(Def=6)</p> <p>ステータスリクエストのデータ長を設定します</p>
RS-422 PORT	ReqTcMode	<p>AUTO VTR 設定に依存します</p> <p>LTC LTC を表示します</p> <p>VITC VITC を表示します</p> <p>FTC FTC を表示します(ディスク等のみ)</p> <p>表示切替えスイッチ部の TC を選んだときの表示するタイムコード(TC センスの種類)を選択</p>
RS-422 PORT	ReqTcMode2	<p>Non 2 つ目の TC/UB センスは行わない</p> <p>AUTO VTR 設定に依存します</p> <p>LTC LTC のみセンスします</p> <p>VITC VITC のみセンスします</p> <p>CTL CTL のみセンスします</p> <p>FTC FTC のみセンスします</p> <p>LTC-UB LTC-UB のみセンスします</p> <p>VITC-UB VITC-UB のみセンスします</p> <p>2 つ目の TC/UB センスが必要な時に設定</p> <p>・PC と接続したシステム等において、状況に応じて選択</p> <p>・通常はデフォルトのまままでご使用下さい</p>
RS-422 PORT	ReqTCTmg1	<p>“0~16”(Def=0)</p> <p>1 つ目の TC センスタイミングを指定</p> <p>・通常はデフォルトのまままでご使用下さい</p>
RS-422 PORT	ReqTCTmg2	<p>“0~16”(Def=0)</p> <p>2 つ目の TC センスタイミングを指定</p> <p>・通常はデフォルトのまままでご使用下さい</p>
RS-422 PORT	UbitSnsEna	<p>Disable 機能させない</p> <p>Enable 機能させる</p> <p>TC 切替えの U-Bit センスを許可するか、しないか</p>
RS-422 PORT	SpeedSns	<p>Disable</p> <p>VtrSns</p> <p>PC と接続したシステムにおいて、状況に応じて設定</p> <p>・通常はデフォルトのまままでご使用下さい</p>
RS-422 PORT	DevTypMod	<p>Normal 周期的にセンスします</p> <p>Fix センスしません</p> <p>Once 通信開始時のみセンスします</p> <p>機器に対するデバイスタイプリクエスト送信動作の選択</p>

※RS-422 PORT 設定はポート(PORT1~PORT4)毎に設定可能です。

PORT No スイッチを押して、設定したいポートを選択して、設定を行ってください。

項目メイン	サブ項目	設定
RS-422 PORT	PbEeMod	Disable 何もしない PlayPB PLAY 系コマンド送信の際 FullEE-OFF コマンドも送信します PlayPB2 同上、ただし STOP コマンドの際は 送信しない PlayPB または PlayPB2 にしておくと、PLAY 系コマンド送信時に明示的に EE から PB 状態に切り替えます
RS-422 PORT	PbEeDly	"0~150"(Def=0) PLAY 系コマンド送信後の、FullEE-OFF コマンド送信を何フレーム遅らすかの設定
RS-422 PORT	FnamSnsTyp	Normal Doremi ドレミを使用する場合に設定します AMP K2/VIDEOS を使用する場合に設定します Disk 機器向けの ファイルセンスコマンド の選択
RS-422 PORT	SdskRecDur	"00:00:00:00~23:59:59:29" (Def=01:00:00:00) Disk 機器向けの 記録ファイルサイズ の指定 ("PrctlTyp"= "MAV" の場合のみ 有効)
RS-422 PORT	SdskLoopRec	ON OFF Disk 機器などの LOOP 記録設定 ("PrctlTyp"="MAV" の場合のみ 有効)
RS-422 PORT	SdskSprSlw	Normal SprSlw MAV スパースロー使用時の設定です
RS-422 PORT	SdskMcnTyp	MAV DR1000 DR1000 を使用する場合に設定します SonyDisk プロトコル設定 ("PrctlTyp"="MAV" の場合のみ 有効)
RS-422 PORT	RecEnable	Disable REC を機能させない Enable REC を機能させる REC 動作を禁止するか選択します
RS-422 PORT	LtcGenTcMod	Disable Device LtcReGen 簡易編集用 通常"Disable"で使用して下さい。
RS-422 PORT	LtcGenUbMod	Disable Device LtcReGen 簡易編集用 通常"Disable"で使用して下さい。
RS-422 PORT	RecLtcSel	Disable Device IntrLtc 簡易編集用 通常"Disable"で使用して下さい。
RS-422 PORT	EdtPrsStsLen	"0~7" (Def=0) "EDIT PRESET SENSE" コマンドのセンス長さ指定 ・機器側の EDIT トラック設定状態のセンス長の指定 ※ASM,V,A1,A2,DA1~8 まで(一般的な VTR) なら 設定値は2 ※現在の所, MAV の場合は 0(センス停止)とする。(MAV 依存)
RS-422 PORT	EditInOfst	"0~30 frame" (Def=5) EDIT-IN コマンドの送信タイミング指定 ・ほとんどの VTR は 5~10 位
RS-422 PORT	EditOutOfst	"0~30 frame" (Def=5) EDIT-OUT コマンドの送信タイミング指定 ・ほとんどの VTR は 5~10 位 で "EditInOfst" と同値の場合が多い

※RS-422 PORT 設定はポート(PORT1~PORT4)毎に設定可能です。

PORT No スイッチを押して、設定したいポートを選択して、設定を行ってください。

項目メイン	サブ項目	設定
RS-422 PORT	EdtOffCmdSel	Edit-Off Edit 終了に Edit-Off コマンドを使う Play Edit 終了に Play コマンドを使う EDIT-OUT 時の使用コマンド選択 (機器によっては,EDIT-OUT 出来るコマンドに制限があるのでその対策用)
RS-422 PORT	StopTmg	"0~99 frame" (Def=5) Stop コマンド送信タイミング パラメータ Cue Mode 3 での Out 点停止位置調整用
RS-422 PORT	StillTmg	"0~99 frame" (Def=5) Still コマンド送信タイミング パラメータ ここで言う"Still"コマンドとは, Jog/Shtl/Var のスピード値を0にしたコマンド Cue Mode 3 での Out 点停止位置調整用
RS-422 PORT	SycStartDly	"0~999 frame" (Def=5) 簡易編集機能での 調相制御パラメータ ・PLAY 送信のタイミングを調整するものであり,最適値にすると, 開始後 速やかに 調相完了となります ・デフォルト値を中心に,調相開始後 速やかに調相完了となる値に 調整する。(約 3~10 の間)
RS-422 PORT	SycGradeFrm	"0~99 frame" (Def=0) 簡易編集機能での 調相制御パラメータ. ・調相完了判定用の調相精度の設定. ・特に旧式の機器でない限り0を指定
RS-422 PORT	PraRecDly	"0~999 frame" (Def=0) Para Rec 時の Rec 送信に Delay をかけます 通常はデフォルトでご使用下さい
RS-422 PORT	SycPrm-1	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm-2	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm-3	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm-4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm-8	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+1	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+2	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+3	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+8	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SioBaudRate	"4800~115200" (Def=38400) SIO のボーレート選択
RS-422 PORT	SioDataBit	7bit 8bit SIO のデータビット選択
RS-422 PORT	SioParity	pn po pe SIO のパリティビット選択
RS-422 PORT	SioStopBit	1bit 2bit SIO のストップビット選択

※RS-422 PORT 設定はポート(PORT1~PORT4)毎に設定可能です。

PORT No スイッチを押して、設定したいポートを選択して、設定を行ってください。

項目メイン	サブ項目	設定
RS-422 PORT	SioPinAsn	RemOut RemInp SIO の Tx/Rx ピンアサイン
RS-422 PORT	SioFrmTout	"0~999" (Def=5) SIO のフレーム通信タイムアウト ・通常はデフォルトのままをご使用下さい
RS-422 PORT	SioChrTout	"0~999" (Def=15) SIO の受信キャラクター間タイムアウト ・通常はデフォルトのままをご使用下さい
RS-422 PORT	OptCmdBmp	"00h~FFh" (Def=01h) 通信コマンドのオプション指定
RS-422 PORT	SioSysPrmA	Thr Mcr PC と接続したシステムにおいて、状況に応じて設定 通常はデフォルトのままをご使用下さい

項目メイン	サブ項目	設定
GPI	InpMode	Disable GPI 入力禁止 Thr PC など上位に対してスルーで通知 CfgAsn 下記 コンフィグ 設定 ("InpLw/InpHi") に 従い 内部 で 処 (PLAY-CSTOP-C 他) Opt 特注仕様用設定 (通常は使用しません) GPI 入力の基本動作設定
GPI	InpLw	Disable IN0-3 の GPI 入力を禁止します OA-C IN0-3 が All ポート OA INHI 設定されます STOP-C IN0-3 が All ポート STOP 設定されます PLAY-C IN0-3 が All ポート PLAY 設定されます REC-C IN0-3 が All ポート REC 設定されます CUE-C IN0-3 が All ポート CUE 設定されます SEARCH-C IN0-3 が All ポート SEARCH 設定されます STANDBY-C IN0-3 が All ポート ST-BY 設定されます REMA1-C IN0-3 がポート1に A 割り当て設定されます REMA2-C IN0-3 がポート2に A 割り当て設定されます REMA3-C IN0-3 がポート3に A 割り当て設定されます REMA4-C IN0-3 がポート4に A 割り当て設定されます REMB1-C IN0-3 がポート1に B 割り当て設定されます REMB2-C IN0-3 がポート2に B 割り当て設定されます REMB3-C IN0-3 がポート3に B 割り当て設定されます REMB4-C IN0-3 がポート4に B 割り当て設定されます GPI 入力 下位 4bit の用途 指定 "InpMode=CfgAsn"の時に本設定で動作する "REMA1~4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に) STOP/PLAY/FR/FF に割り当てたもの "REMB1~4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に) REC/CUE/SEARCH/STBY-ON に割り当てたもの

項目メイン	サブ項目	設定
GPI	InpHi	<p>Disable IN4-7 の GPI 入力を禁止します</p> <p>OA-C IN4-7 が All ポート OA INHI 設定されます</p> <p>STOP-C IN4-7 が All ポート STOP 設定されます</p> <p>PLAY-C IN4-7 が All ポート PLAY 設定されます</p> <p>REC-C IN4-7 が All ポート REC 設定されます</p> <p>CUE-C IN4-7 が All ポート CUE 設定されます</p> <p>SEARCH-C IN4-7 が All ポート SEARCH 設定されます</p> <p>STANDBY-C IN4-7 が All ポート ST-BY 設定されます</p> <p>REMA1-C IN4-7 がポート1に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA2-C IN4-7 がポート2に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA3-C IN4-7 がポート3に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA4-C IN4-7 がポート4に A 割り当て設定されます</p> <p>REMB1-C IN4-7 がポート1に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB2-C IN4-7 がポート2に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB3-C IN4-7 がポート3に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB4-C IN4-7 がポート4に B 割り当て設定されます</p> <p>GPI 入力 上位 4bit の用途 指定</p> <p>"InpMode=CfgAsn"の時に本設定で動作する</p> <p>"REMA1~4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に)</p> <p>STOP/PLAY/FR/FF に割り当てたもの</p> <p>"REMB1~4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に)</p> <p>REC/CUE/SEARCH/STBY-ON に割り当てたもの</p>
GPI	OutMod	<p>Disable GPI 入力禁止</p> <p>Thr PC など上位に対してスルーで通知</p> <p>CfgAsn 下記コンフィグ設定("InpLw/InpHi")に従い内部で処理 (PLAY-C や STOP-C 他)</p> <p>Opt 特注仕様用設定(通常は使用しません)</p> <p>Test IN→OUT スルーテストモード</p> <p>GPI 出力の基本動作設定</p>
GPI	OutLw	<p>Disable</p> <p>OA-S</p> <p>STOP-S</p> <p>PLAY-S</p> <p>REC-S</p> <p>SEARCH-S</p> <p>STANDBY-S</p> <p>REMA1-S</p> <p>REMA2-S</p> <p>REMA3-S</p> <p>REMA4-S</p> <p>REMB1-S</p> <p>REMB2-S</p> <p>REMB3-S</p> <p>REMB4-S</p> <p>LevelL</p> <p>LevelH</p> <p>EventL</p> <p>EventH</p> <p>GPI 出力下位 4bit の用途 指定</p> <p>"OutMod=CfgAsn"の時に本設定で動作する</p> <p>"REMA1~4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に)</p> <p>STOP/PLAY/FR/FF に割り当てたもの</p> <p>"REMB1~4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に)</p> <p>REC/(予約)/SEARCH/STBY-ON に割り当てたもの</p> <p>"LevelL,LevelH,EventL,EventH"は PC 接続時などの場合のイベント登録による GPI 制御用</p> <p>"SEARCH-S"関係は,パネル同名 SW 点灯と同様扱いです</p>

項目メイン	サブ項目	設定
GPI	OutHi	Disable OA-S STOP-S PLAY-S REC-S SEARCH-S STANDBY-S REMA1-S REMA2-S REMA3-S REMA4-S REMB1-S REMB2-S REMB3-S REMB4-S LevelL LevelH EventL EventH GPI 出力上位 4bit の用途 指定 "OutMod=CfgAsn"の時に本設定で動作する "REMA1~4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に) STOP/PLAY/FR/FF に割り当てたもの "REMB1~4-C"は,4bit を(1 つのポート制御用に) REC/(予約)/SEARCH/STBY-ON に割り当てたもの "LevelL,LevelH,EventL,EventH"は PC 接続時などの場合のイベント登録による GPI 制御用 "SEARCH-S"関係は,パネル同名 SW 点灯と同様扱いです

項目メイン	サブ項目	設定
LAN/LINK	IpAdrs	"192:168:001:240" (=Def) PC 等 と LAN で接続した場合に 必要に応じて設定
LAN/LINK	IpMask	"255:255:255:000" (=Def) PC 等 と LAN で接続した場合に 必要に応じて設定
LAN/LINK	\$UnitID	"1ID 2ID 3ID 4ID 5ID 6ID 7ID 8ID" (Def=1ID) MDC50Tb 自局の ID (デフォルトのままで使用してください)
LAN/LINK	LanRspMod	Disable 通知しない RtStEna 周期ステータスのみ通知 (TimeCode など) OpStEna 操作イベントのみ通知 (キー操作など) EvOpEna Cue 関係操作イベントのみ通知 AllEna 全て通知 PC と LAN で接続した場合の PC へのステータス通知モード PC と接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LanRspUnt	"0~64" (Def=8) PC と LAN で接続した場合の PC 側の UnitId. (ステータスの送り先の指定として) PC と接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LanRspInt	"0~99" (Def=20) PC と LAN で接続した場合の PC 側へのステータス送信周期. (10ms 単位) 0 にした場合は,本機内部の他の処理に支障がない範囲で最短周期での送信
LAN/LINK	LanRtryCt	"0~30" (Def=10) LAN 通信での送信リトライ数 現在の所デフォルトのまま (設置先の LAN 環境によっては調整の必要有り) PC と接続する場合のみ必要に応じて設定

項目メイン	サブ項目	設定
LAN/LINK	LanRtrylv	"0~30" (Def=3) LAN 通信での送信リトライ間隔 現在の所デフォルトのまま (設置先の LAN 環境によっては調整の必要有り) PC と接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LnkRspMod	Disable 通知しない RtStsEna 周期ステータスのみ通知 (TimeCode など) OpStsEna 操作イベントのみ通知 (キー操作など) EvOpEna Cue 関係操作イベントのみ通知 AllEna 全て通知 PC と 1394 で接続した場合の PC へのステータス通知モード PC と接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LnkRspUnt	"0~64" (Def=8) PC と 1394 で接続した場合の PC 側の UnitId. (ステータスの送り先の指定として) PC と接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	\$LnkBusSpd	"100 200 400" (Def=400) LINK 通信速度設定. 単位は bps (通常はデフォルトのままで使用してください)
LAN/LINK	\$LnkSchMod	Normal Model 接続先ユニットの探索動作指定
LAN/LINK	\$LnkSchSec	"0~30 sec" (Def=3) 接続先ユニットの探索時間指定 (デフォルトのままで使用してください)
LAN/LINK	\$LnkPtDis	Normal DisPort1 DisPort2 DisAll LINK ポートのマスク指定 (デフォルトのままで使用してください)
LAN/LINK	LnkSysPrmA	"0~32" (Def=4) メーカー内部パラメータ PC と接続したシステムにおいて,状況に応じて設定 通常はデフォルトのままで使用

項目メイン	サブ項目	設定
SYSTEM	UnitName	"MDC50T" ユニット名称
SYSTEM	VersionInfo	バージョンを表示します
SYSTEM	ExtInfo	"P*,DSK" や "P*,STD" などと表示される MDC50Tb にインストールされているオプション表示 "P*" 使用可能なポート数"P1/P2/P3/P4" "DSK" DISK ソフトがインストールされています "STD" VTR ソフトがインストールされています
SYSTEM	MAC ADR	MAC ADDRESS を表示します
SYSTEM	DIAG-Feder	メンテナンスで使用します
SYSTEM	\$SysFrmTyp	NTSC 本機を NTSC 環境で使用する場合 PAL 本機を PAL 環境で使用する場合 システムフレームタイプの設定です 本項目を切り替えると, "RS422 > FrameType" 設定も連動して強制的に切り替わります なお,既に登録済みの CUE データ(TC 値など)等は,本項目の切替に関係なく,そのまま保持されています

項目メイン	サブ項目	設定
SYSTEM	#CfgBnkSv	Non バンク登録しません(誤操作防止用) Bank1 現在の設定をバンク1に登録します Bank2 現在の設定をバンク2に登録します Bank3 現在の設定をバンク3に登録します Bank4 現在の設定をバンク4に登録します Bank5 現在の設定をバンク5に登録します Bank6 現在の設定をバンク6に登録します Bank7 現在の設定をバンク7に登録します Bank8 現在の設定をバンク8に登録します メニュー設定をバンクに登録します

項目メイン	サブ項目	設定
EXTENSION-1	P1-RecCplg	“0001” (Def=0001) ポート1 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
EXTENSION-1	P2-RecCplg	“0010” (Def=0001) ポート2 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
EXTENSION-1	P3-RecCplg	“0100” (Def=0100) ポート3 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
EXTENSION-1	P4-RecCplg	“1000” (Def=1000) ポート4 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
EXTENSION-1	P1-PlayCplg	“0001” (Def=0010) ポート1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
EXTENSION-1	P2-PlayCplg	“0010” (Def=0010) ポート2 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
EXTENSION-1	P3-PlayCplg	“0100” (Def=0100) ポート3 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
EXTENSION-1	P4-PlayCplg	“1000” (Def=1000) ポート4 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照

EXTENSION-1 はディスクソフト使用時のみ表示されます。

9.3 エラー表示

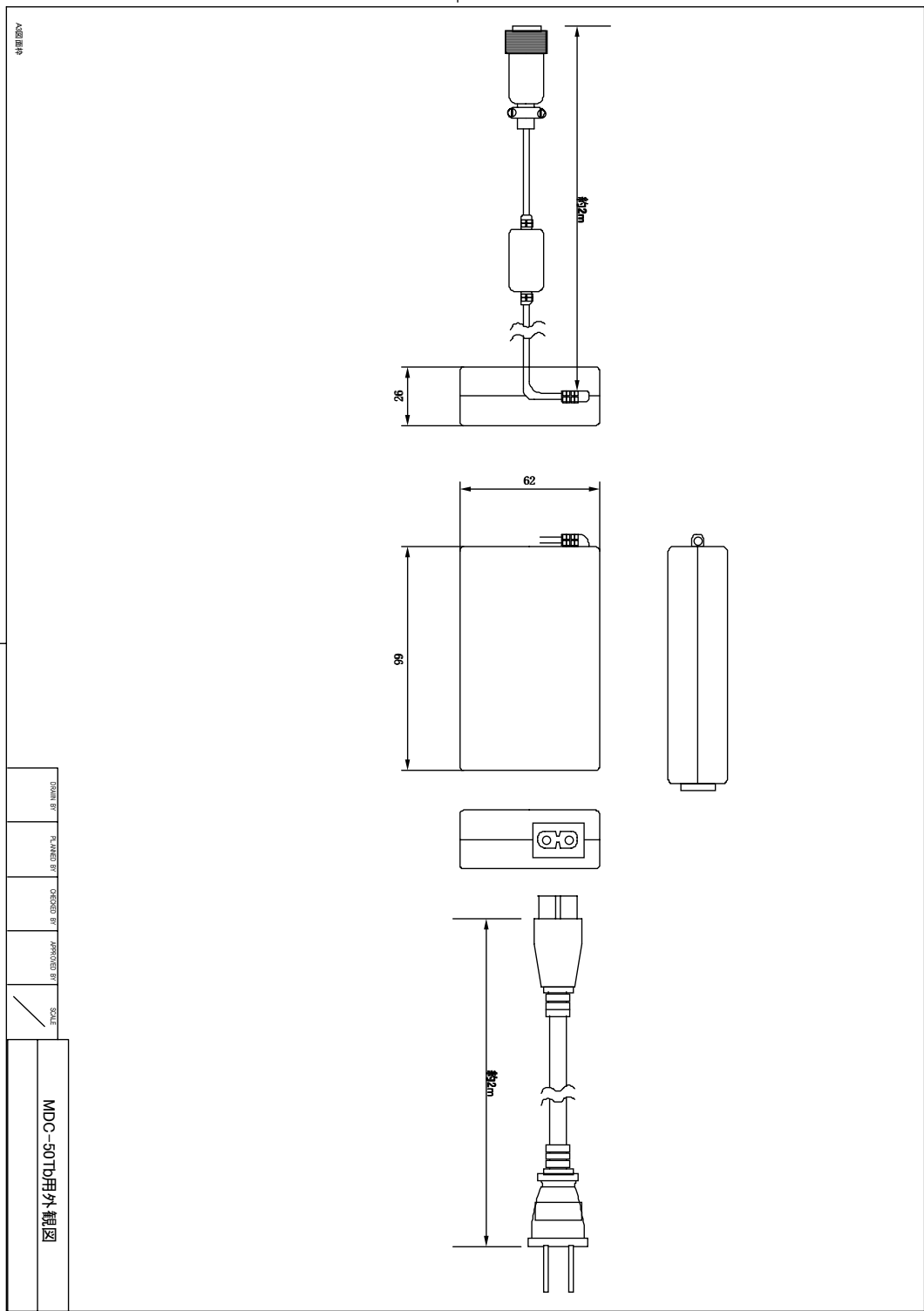
エラーが発生した場合は液晶表示部にエラーメッセージが表示されます。

エラー表示	内容
“CUE DATA FULL!”	CUE 登録を行なおうとしたときに、BANK バッファがいっぱいの時に表示されます
“PLEASE CHANGE”, “DISPLAY TC” “PLEASE CHANGE”, “DISPLAY CTL”	CUE, AE 機能呼び出し時に、 メニューの制御 TC 選択と表示の TC 種別 が異なっている場合、表示 TC の切替えを促すメッセージです

”SYSTEM ERR ~”のエラーが表示された場合は、メーカーまで問い合わせ願います。

10.仕様

項目	仕様
RS - 422 (Dsub9PIN)	1系統 (最大4ポート増設可能)
GPI (入出力各8ビット、Dsub25PIN)	1系統
LAN (ETHERNET 10/100base RT-45 コネクター)	1系統 (メンテナンス用)
LINK (IEEE1394)	2系統 (未使用)
REF (B.B 信号、BNC コネクター、ループスルー)	1系統
VIDEO IN (BNC コネクター)	1系統(オプション)
MONITOR OUT (BNC コネクター)	1系統(オプション)
寸法 (mm)	210(w) x 268(D) x 90 奥 ~ 約 44 手前(H)
質量	約 3 Kg
消費電力	約 12W
電源 AC アダプター	INPUT 100-240V ~ 1.1A 50-60Hz



MUSASHI

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
電源 220V をご使用の場合は弊社までご連絡ください。

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391 FAX 03-5982-4784

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜（休祝日を除く）

E-Mail : info@musashi-kk.co.jp

URL : <http://www.musashi-kk.co.jp/>
